

認定看護師会では院外の医療従事者の方に向けた研修会を行っています。

昨年1年間を通して4回の地域医療従事者研修を開催しました。参加人数は院内外合わせて参加者73名で、参加した80%以上の方がニーズに合った研修だったというアンケート結果になりました。今後も医療の質向上に貢献出来るように活動していきたいと考えています。

「在宅腹膜透析の基礎知識とバッグ交換の方法・援助」の研修では訪問看護師だけでなく、介護福祉士や作業療法士の参加もあり、熱意を感じました。実践に基づいた内容で行い、今後、腹膜透析をされる方の支援する上で、何を観察し、どのように関わればいいのか理解していただくことができました。

透析看護認定看護師 井本千秋



「がん疼痛に対する治療」として突出痛治療を中心に研修を行いました。

“自宅でオピオイドを使用する際の看護を学びたい”と声が上がったので、今後は自宅で患者さんが安楽に過ごせる様な研修も考えていきたいと思えます。

がん性疼痛看護認定看護師 木本美由紀



「高齢者施設における感染対策」と題して、感染対策の基礎から冬期に流行するノロウイルスやインフルエンザと対策等の内容で研修会を開催しました。社会福祉施設に関わる多くの方にご参加頂きました。

感染管理認定看護師 林沼聖子

「ストーマ装具選択」の研修を行いました。「装具の種類を実際に触れたのでよかった。」「知らないパウチもあり興味を持てた。」などの感想をいただきました。また、「在宅で困っていることなどを聞いてほしい」などのご意見もいただきました。

皮膚・排泄ケア認定看護師 北田勇也